

機体整備の技術競う

真剣な表情で競技に取り組む学生たち＝関市迫間、
中日本航空専門学校



中日本航空専門学校でコンテスト

関市迫間の中日本航空専門学校で31日、第13回航空整備科技能コンテストが開かれ、同科で学ぶ1～3年生や卒業生の計約250人が機体整備の基本技術を競った。

航空整備士を目指す同科の学生を対象とし、チャレンジ精神を養い、整備技能の向上につなげてもらおうと開催。学生に加え、ANAやJALなどで活躍する同校卒業生も参加した。指定部品をノギスと呼ば

れる計測器で測る競技、アルミニウム合金の鋸のリベットをつぶす競技など計

6競技をチーム戦で実施。学生たちは真剣な表情で取り組み、スピードや正確性などを競った。

エンジンのねじが緩まないよう針金をかける競技に挑んだ1年今村文哉さん(19)は「初めて参加した。先輩を目指して来年に向けて頑張りたい」と話した。
(高橋友基)